

NPO法人青少年自立援助センター
多摩若者サポートステーション

職場体験受入のお願い



【はじめに】 協力企業・団体みなさまへ

若者の自立に向けたご支援・ご協力のほどをよろしくお願いいたします。

サポートステーション（通称：サポステ）とは、働くことに悩みを抱えている15～49歳までの皆さまを対象に、就労に向けた支援を行う機関です。「働きたいけど、どうしたらよいのかわからない・・・」、「働きたいけど、自信が持てず一歩を踏み出せない・・・」、「働きたいけど、コミュニケーションが苦手・・・不安」、「働きたいけど、人間関係のつまずきで退職後、ブランクが長くなってしまった・・・」など、働くことに悩みを抱えている15歳～49歳までの方の就労を支援しています。

若者が社会につながるきっかけとして、みなさまに社会経験の場や機会を提供いただくことが、一歩前進する手助けとなります。是非とも若者の就労・自立のために力をお貸しください。どうぞよろしくお願いいたします。

青少年自立援助センター 多摩若者サポートステーション 職員一同

特定非営利活動法人

青少年自立援助センターの活動概要

1977年に前理事長の工藤定次が民間の学習塾であるタメ塾として、「あらゆる困難を抱える若者・子どもの支援」を標榜、支援を開始。1999年にはNPO法人青少年自立援助センターを設立いたしました。

不登校からのひきこもりなど、孤立状態にある若者や家族の存在を何とかしなくてはならないとの思いから、ひきこもりの総合的な自立支援の場を整えてきました。



ひきこもり 支援事業

日本で、最も長く、実績のある団体として、また、NPOの自主事業だからこそできる独自のシステムで、発見・誘導・参加・出口のトータルサポートを確立しています。

ニート 支援事業

厚生労働省委託の地域若者サポートステーションにおいて、無業状態の若者の就労相談窓口を開設しています。また、各自治体からは、就労のための職場体験等の委託を受け、運営しています。本部施設を利用した6ヶ月の合宿プログラムでは、生活習慣作り・仲間作り・体力作りを支援しています。

YSC ネットワーク

ひきこもり支援事業を機軸として、社会的弱者である子ども・若者を多角的に支援することで自立へと導きます。

福祉的 支援事業

ひきこもりやニートという状態であっても、一般就労できない若者がいます。自分らしく生活・就労するためのサポート体制として、相談センター・作業場・グループホームを運営。各部署が一体となって、支援します。

困難を抱えた子ども若者 支援事業

定住外国人の子ども日本語学習指導・生活困窮・生活保護の子ども学習指導・子ども食堂・発達障害児の放課後デイサービス等、子どもたちが未来に希望を持てるよう支援します。

多摩若者サポートステーションの活動概要①

**あなたを全力でサポートする場所です。
今の思いをお話してください。**

地域若者サポートステーション（通称サポステ）は、
「働く」への一步を踏み出したい15歳～49歳までの現在、お仕事をされていない方や
就学中でない方たちとじっくりと向き合い、
本人やご家族の方々だけでは解決が難しい「働き出す力」を引き出し、
「職場定着するまで」を全面的にバックアップする厚生労働省委託の支援機関です。

人間関係
でつまづ
いた

コミュニ
ケーション
が苦手

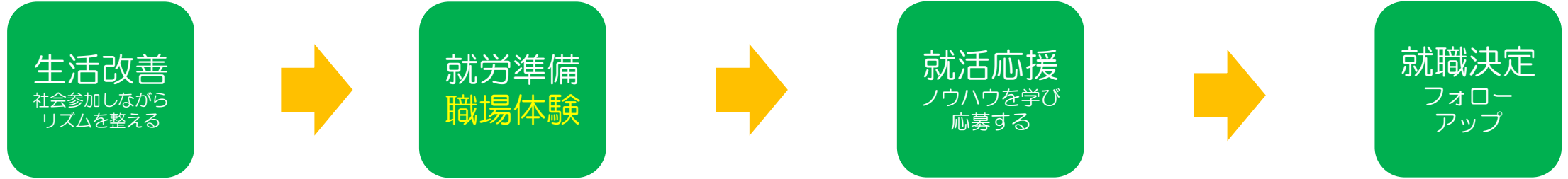
働いてい
く自信が
ない…

面接が
怖い…

社会経験
が少ない

厚生労働省・東京労働局委託事業

多摩若者サポートステーションの活動概要②



働くことに悩みを抱えている若者に対し、キャリアコンサルタントをはじめとする様々な専門家と個別相談をし、解決策を検討していきます。そして就労支援プログラム（コミュニケーション講座、職場見学・体験、適職診断、パソコン講座、ビジネスマナー講座など）を通して自立、就労に必要な力を身につけます。また就職活動に必要な情報提供を行い、就職後は職場定着やステップアップ支援も積極的に行っていきます。

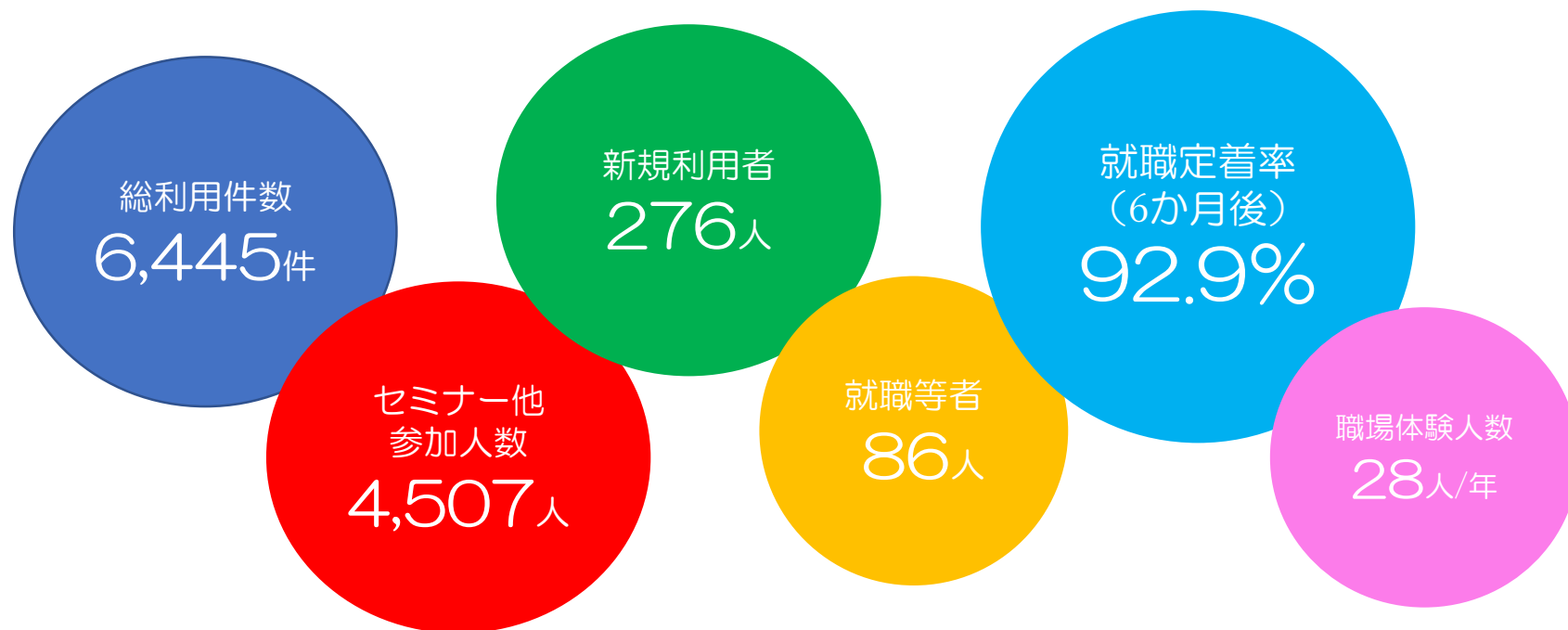


厚生労働省・東京労働局委託事業

多摩若者サポートステーションの活動概要③

▼多摩若者サポートステーションの利用者規模・実績

福生市/西多摩地域を中心に多くの若者またはそのご家族にご利用いただいております。



※2021年度

職場実習の概要

▼職場体験とは

サポステ利用者が企業・団体へ出向き、普段の仕事を体験させていただくものとなります。体験内容は、サポステのスタッフと相談しながら、企業とサポステ利用者のニーズに応じた計画を策定します。また、職場体験中は、企業の皆さまにご協力頂きながら、サポステのスタッフも一緒にサポートしていきます。

地域の企業様にご協力頂き、実際にその会社で“仕事”の経験をさせて頂きながら、個々の課題に取り組みます。

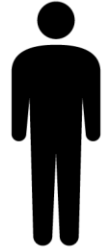
- 就労経験が乏しい方
- 仕事が長続きしない方
- 何の仕事に向いているか分からない方

スタッフが利用者と企業間のコーディネートを致しますので、その方に合せた無理のないプログラムを実施します。

※注）職場実習プログラムは雇用を前提としたものではありません。

職場実習の仕組み

利用者の若者

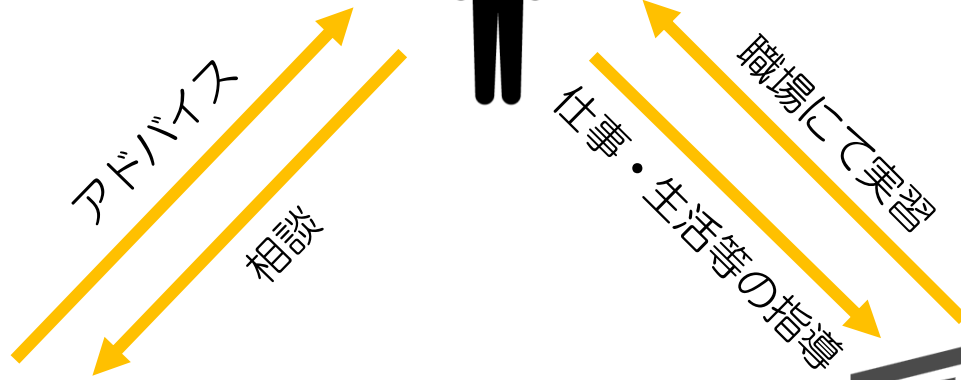


多摩若者サポート
ステーション

連携・コーディネート



協力企業さま



◇協力企業さまで“仕事”の経験をさせていただきながら、個々の課題に取り組む利用者と企業間とのコーディネートがスタッフが担う。

◇目標設定→実践→振り返り→目標再設定のサイクルによって“良い体験”で終わることなく、効果を上げていくことを目指す。

◇期間・内容・時間・利用目的等は個々の状況に応じて設定させていただきます。

【利用者の主な課題】

就労経験に乏しい

⇒挨拶や報連相などの基礎的な社会性を身に付ける

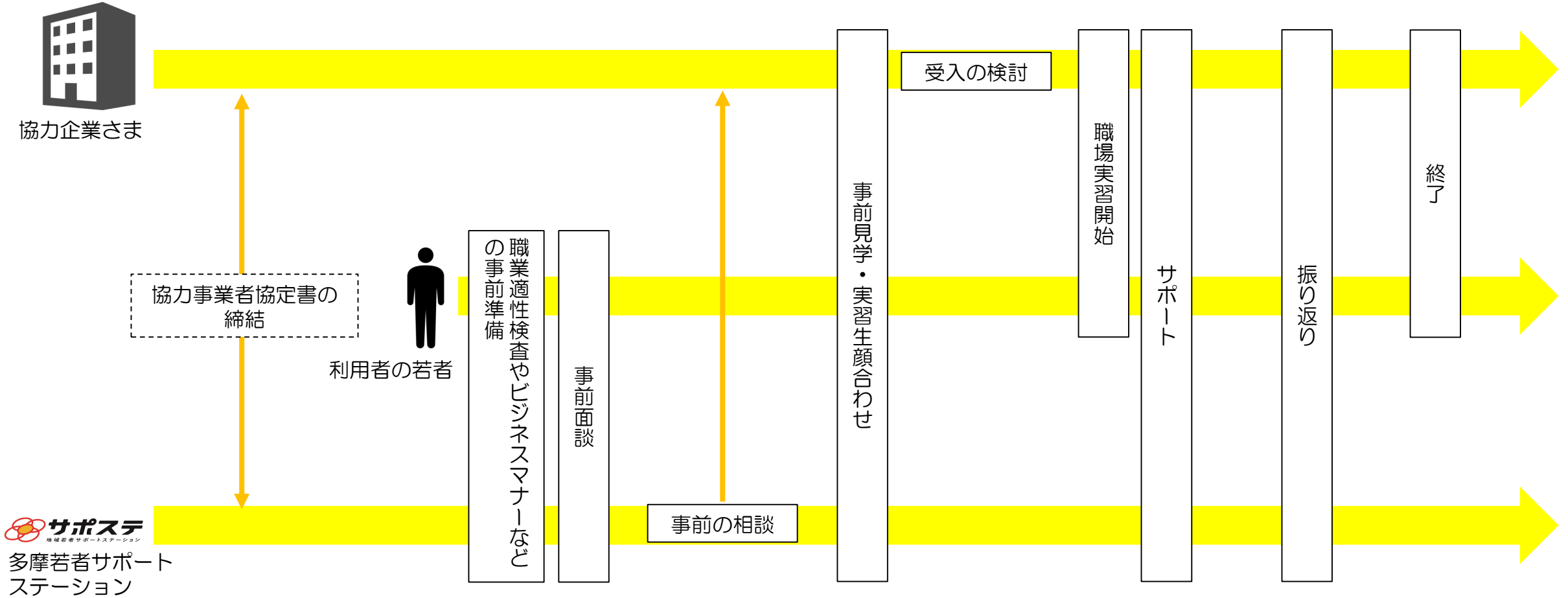
仕事が長続きしない

⇒仕事を継続していく上での課題を抽出、改善していく

何の仕事に向いているかわからない

⇒経験を積むことにより、自身の適正を知る

職場実習の流れ



協力企業・団体・自治体

職場見学・職場実習以外にも、ボランティア活動等でさまざまな企業・団体さまにご協力いただいております



株式会社 田村歯車工業



白井農園



職場実習についてよくある質問

Q.実習期間や作業時間は？

A.受入先の都合等を考慮し決定いたします。短い場合は1日程度、長い場合で1週間や1カ月といった期間設定も可能です。時間についても1～3時間、4～6時間など可能です。

Q.社内での準備等はあるの？

A.特にございませんが、実習を円滑に進めるために社内周知をお願いしたいと思います。

Q.賃金を払う必要は？

A.訓練の一環ですので必要ございません。職場体験中は保険に加入しますので、万が一の時も安心です。

Q.実習受け入れ場合は雇用をしなければならないの？

A.実習ですので義務はございません。ただ、雇用に繋がるケースもございますので、状況に応じてご検討いただくと幸いです。

施設の概要（多摩若者サポートステーション）



お気軽にお問合せ下さい

TEL 042-513-0577

✉ info@tamayss.jp

Open 火～土 10:00～18:00

Close 日・月・祝日・年末年始



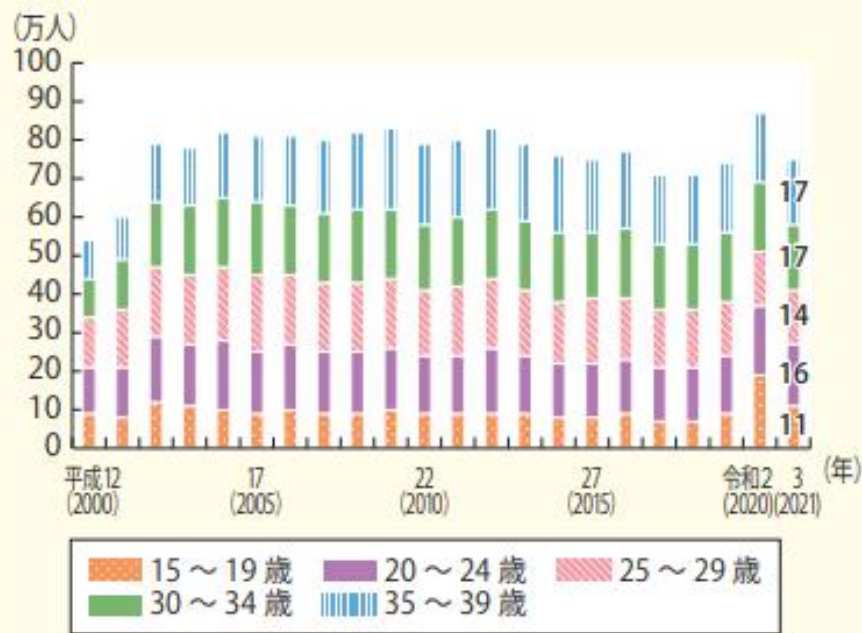
東京都福生市志茂183-2
NPO法人青少年自立援助センター第3 2階



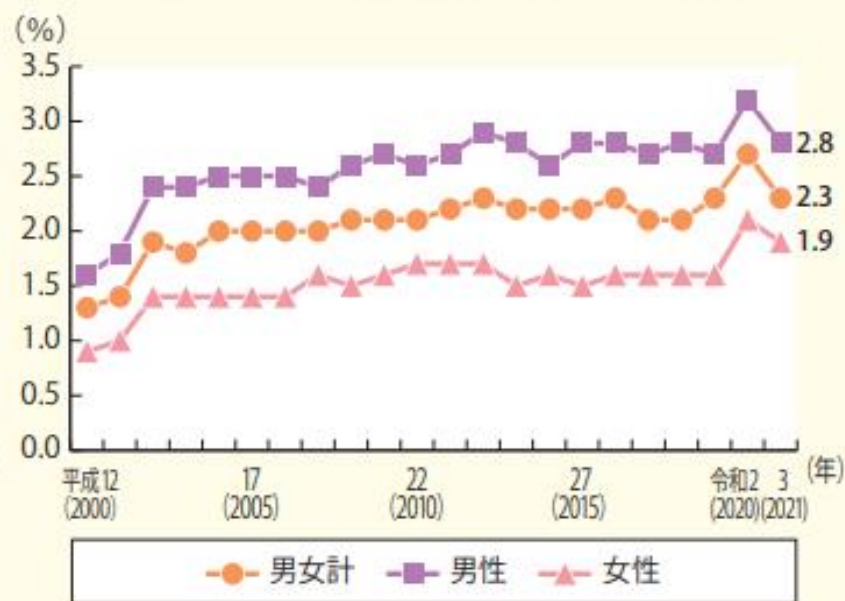
参考資料① 若年無業者数の推移

◆ 15～39歳の若年無業者数は、令和3年で75万人であり、15～39歳人口に占める割合は2.3%であった。

(1) 推移(男女計)



(2) 15～39歳人口に占める若年無業者の割合



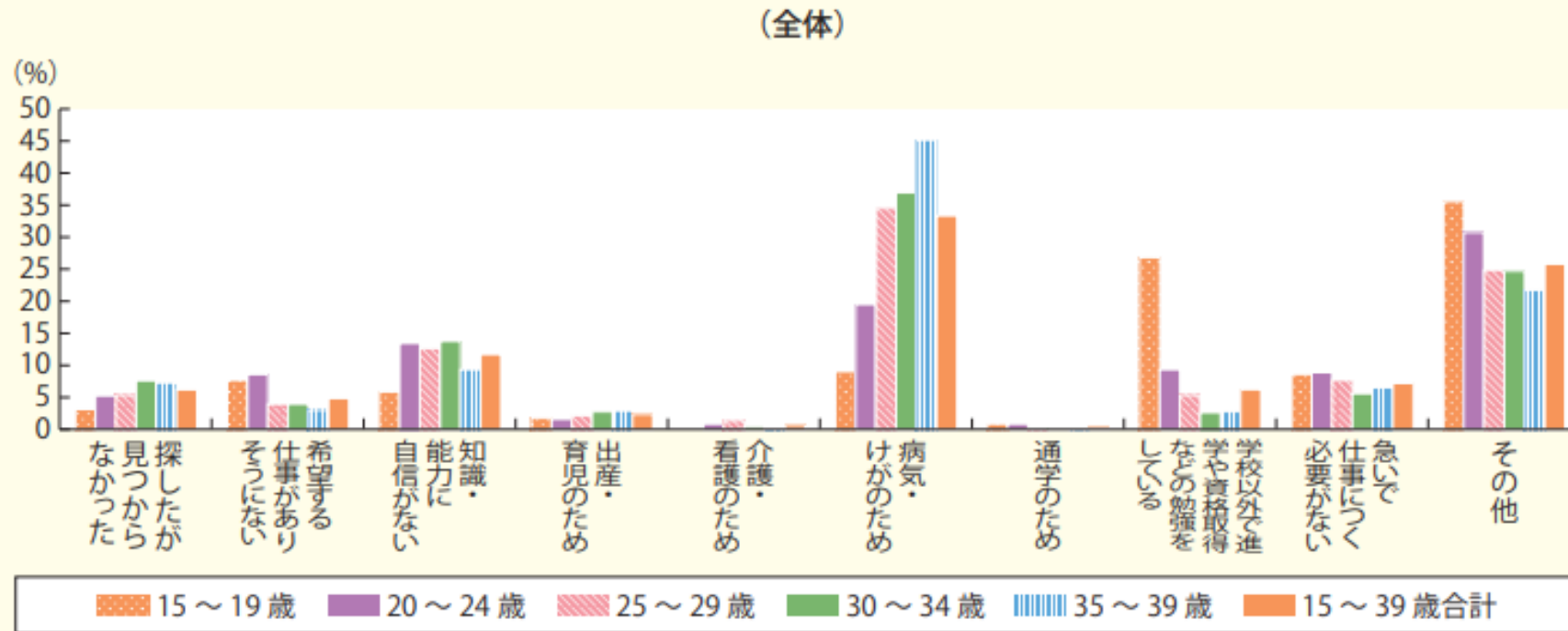
(出典) 総務省「労働力調査」
 (注) 平成23年の数値は、岩手県、宮城県及び福島県を除いたものである。

◇出展：令和4年版 子供・若者白書（全体版）

参考資料②

若年無業者が求職活動をしらない理由

◆ 「病気・けが」や「勉強」を除くと、「知識・能力に自信がない」、「探したが見つからなかった」、「希望する仕事がありそうにない」の回答が多く見られる。

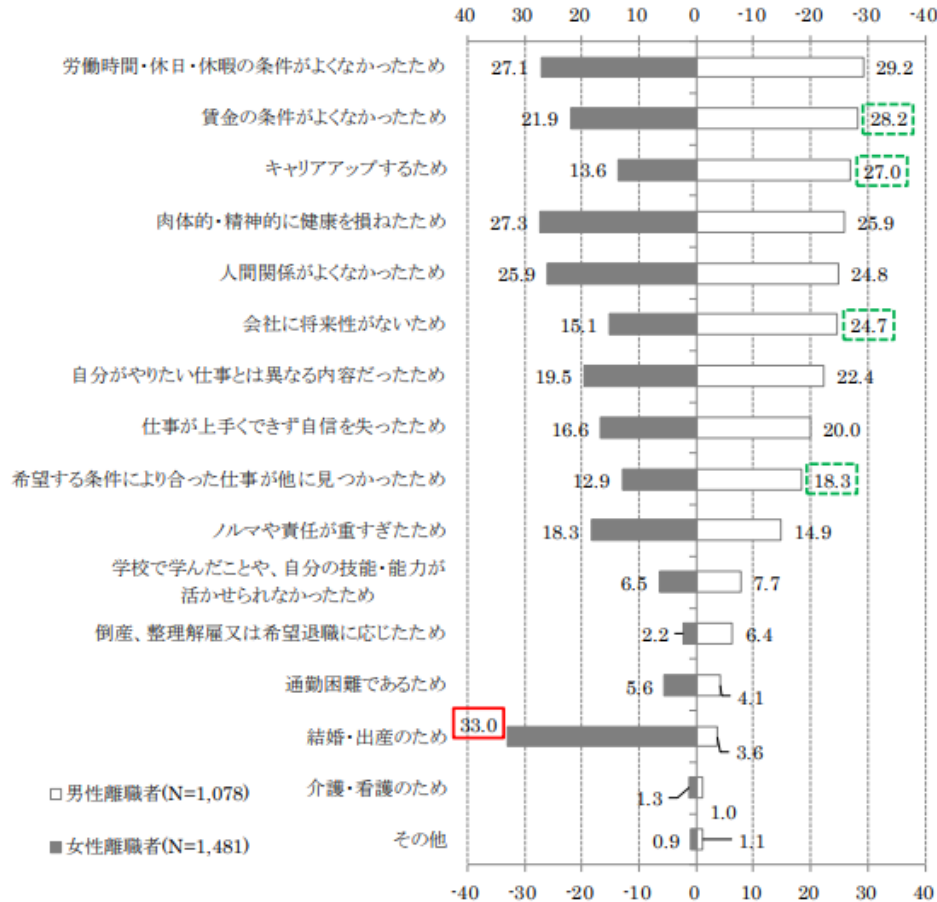


(出典) 総務省「就業構造基本調査」

◇出展：令和4年版 子供・若者白書（全体版）

参考資料③

「初めての正社員勤務先」を離職した理由



離職者全体にみる「初めての正社員勤務先」を離職した理由

男女の双方において、2割以上の方が挙げた理由は「労働時間・休日・休暇の条件がよくなかったため」「賃金の条件がよくなかったため」「肉体的・精神的に健康を損ねたため」「人間関係がよくなかったため」であり、労働条件・待遇に対する不満や、心身の安寧が脅かされるような職場環境は、性別を問わず若者が離職を決意する主要な理由であることがわかる。一方、男女とも「倒産、整理解雇又は希望退職に応じたため」「介護・看護のため」「通勤困難なため」「学校で学んだことや自分の技能・能力を活かせられなかった」の回答率は小さい。